

新年明けましておめでとうございます。

山神水道企業団を構成する筑紫野市、太宰府市、三井水道企業団の関係住民の皆様におかれましては、新しい年を迎え、健やかに過ごしの事とお慶び申し上げます。

平成28年の年頭に当たりまして、企業長として御挨拶申し上げます。

昨年を振り返りますと、外交関係では、TPP参加交渉の大筋合意や、いわゆる「イスラム国」の問題など、大変大きな話題がありました。また、国内におきましては、安保法制の成立、マイナンバー制度の開始や原子力発電所の再稼働など様々な動きがあったところです。

一方、当企業団におきましては、順調な降雨に恵まれ、山神ダムの貯水率は常に90パーセント台を維持してまいりました。その結果、各構成団体ひいては関係住民の皆様へ安全、安心な水道水を安定して供給することができました。

施設面におきましては、老朽化した機械設備の更新や主要な施設の耐震診断、また、事業創設時の送水管等が法定耐用年数を迎えることに伴い、多額の更新工事費等の発生やそれに伴う減価償却費の増大が想定されることから、これら施設の長寿命化の検討を行ってまいります。

経営面におきましては、平成26年度決算において純利益を生じましたが、なお一層の経費節減と、効率的かつ適切な財政運営、事業運営に取り組んでまいり所存でございます。

今後とも、当企業団の水道用水供給事業に対し、更なる御理解、御支援を賜りますよう切にお願い申し上げます。

関係住民の皆様にとりまして、平成28年が輝かしい1年となりますよう心からお祈り申し上げます、新年の御挨拶といたします。

平成28年1月

山神水道企業団 企業長 藤田陽三